

令和3年度(2021)研究業績

1. 研究発表等の要旨

No	発表者	発表 課 題 名	発表学会等	年 月
1	原田克哉・伊東寛 史・平野優徳	イチゴ品種「佐賀 i9 号」の着色不良果の発生要因	第 84 回九州農業研 究発表会	2021 年 12 月
2	池田繁成、石橋隆、 田中義樹	カンキツ品種「佐賀果試 35 号」の露地栽培における長期貯蔵条件と果実品質	第 84 回九州農業研 究発表会	2021 年 12 月
3	弓削尚之・池田繁 成・向井彩音	肥育素牛導入体系での 26 ヶ月齢肥育における発 酵 TMR を用いた飼料給与方法の確立	第 84 回九州農業研 究発表会	2021 年 12 月

2. 刊行物

No.	刊 行 物 名	年 月
1	令和2年度業務年報	2021 年 5 月

3. 論文・著書・解説

No.	著 者	題 名	掲載誌	年 月
1	池田繁成	施設栽培を中核とした柑橘産地 唐津市・玄海町	果実日本(vol.76) P9~13	2021 年 5 月
2	川内孝太	施設ミカンにおける防除体系	植物防疫(vol.76)	2022 年 1 月
3	川内孝太	タマネギ生育初期のべと病防除について	佐賀の野菜 P34~35	2022 年 1 月
4	原田克也	イチゴ「いちごさん」の高品質栽培に向けて	施設と園芸 P25	2022 年 1 月
5	池田繁成	今月の果樹管理(ハウスミカン)	佐賀の果樹	2021 年 4~12 月

4. 公表した研究成果情報

令和3年度に公表した研究成果情報は、冬どりタマネギ2題、キャベツ1題、施設イチゴ1題、果樹1題、畜産1題の計6題である。これらの成果情報については各種研修会等で紹介するとともにホームページにも掲載し、周知に努めている。

No.	情 報 名	担 当
1	夏まき冬どりタマネギで品種「春いちばん」は9月上旬定植遅れでも収量が多い	畑作・野菜
2	夏まき冬どりタマネギの定植前の液肥施用で苗質および商品収量が向上する	畑作・野菜
3	キャベツ品種「藍天」は10月収穫ができ在圃性、収量性および食味に優れる	畑作・野菜
4	イチゴ「佐賀 i9 号」の厳寒期における着色不良果の発生要因	畑作・野菜
5	土壌水分目視計を用いた温州ミカンマルチ栽培での土壌水分状態の測定	畜産・果樹
6	黒毛和種去勢肥育牛 26 ヶ月齢出荷は通常出荷よりも1頭あたり年間所得が43千円多くなる	畜産・果樹